⑧ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2～4]

野縁等の種類　屋外　※25型　・19型
　　屋内　※25型　・19型
既存の埋込みインサート　・使用する
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う（箇所数（　　）確認強度（　　））
屋外の軒天井、ピロティ天井等
野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離　※図示
野縁の間隔　※図示　・
耐風圧性を考慮した補強　※図示　・
つりボルトの間隔が900mmを超える場合　補強方法　※図示
天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
　補強方法　※改修標準仕様書6.6.4（8）による　・
天井のふところが3.0mを超える場合　補強方法　※図示
天井下地材における耐震性を考慮した補強　・行う
　補強箇所　※図示　補強方法　※図示

⑨ 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3]

スタッド、ランナーの種類　※改修標準仕様書表6.7.1による　・図示
スタッドの高さが5mを超える場合　※図示

⑩ ビニル床シート　ビニル床タイル　ゴム床タイル [6.8.2～3]

⊙ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ（mm）	工法
※複層ビニル床シート	※FS	※無地	※2.0	※熱溶接
・	・	・	・2.5	・突付け

・ビニル床タイル

種類	記号	色柄	厚さ（mm）	寸法
※コンポジションビニル床タイル	・KT	・無地	※2.0	・
・	・	・柄物	・	
		・		

・特殊機能床材

種類	記号	厚さ（mm）	特殊機能	備考
・	・	・	・帯電防止 ・耐動荷重 ・防滑性	

・帯電防止
帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1．2以上～3．2未満、又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7} ～1×10^{10} Ω未満
・耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩耗性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニル床シートのみ）及びキャスター性能試験後、異常がないこと
・視覚障害者用床タイル

種類	色	厚さ（mm）	寸法（mm）
・視覚障害者用床タイル（塩ビ製）	※黄色	※2.0	※300×300
・	・	・	形状　JIS T 9251

⊙ビニル幅木
厚さ（mm）　・
高さ（mm）　※60　・75　・100　・
共通仕様書の規定による材料又は、評価名簿による材料

⑪ カーペット敷き [6.9.2～3]

・繊じゅうたん

種別	パイル形状	帯電性	織り方	色柄等	備考
・A種	・カットパイル	・人体耐電圧	・ウィルトン	・無地	
・B種	・ループパイル	3kv以下	・ダブルフェース	・柄物	
・C種	・カット、ループ併用	・	・アキスミンスター	（標準品）	

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ　8mm　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	・人体耐電圧	
・ループパイル	※4～6　・	・グリッパー工法	3kv以下	
・レベルループパイル	※4			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ　8mm　・

⊙タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	図示	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・		・	・	
・カット、ループ併用	・		・	・	

タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
　階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等　※図示　・　　）

12 合成樹脂塗床 [6.10.2～3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂系			※平滑仕上げ　・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ・エポキシ樹脂系		※薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材	※エポキシ樹脂系		

13 フローリング張り [6.11.2～6]

・単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ（mm）	大きさ（mm）	間伐材等の適用
・フローリングブロック1等	※接着工法	・	・	・	・
・フローリングボード1等	・釘留め工法（根太張り）	・	※15 ・	幅　75以上 長さ　400以上	・
	・釘留め工法（直張り）	・	12以上 ・	幅　75以上 長さ　400以上	・
	・接着工法	・	8以上 ・	幅　75以上 長さ　400以上	・

・天然木化粧複合フローリング

工法	種別	樹種	表層（mm）	厚さ（mm）	幅（mm）	長さ（mm）	間伐材等の適用
・釘留め工法（根太張り）	・A種	・	ひき板の厚さ2以上	15以上	75以上	900以上	・
	・B種	・	突板の厚さ1.2以上	12以上	75以上	900以上	・
	・C種	・	突板の厚さ0.25以上	12以上	75以上	900以上	・
・釘留め工法（直張り）	・A種	・	ひき板の厚さ2以上	12以上	75以上	900以上	・
	・B種	・	突板の厚さ1.2以上	12以上	75以上	900以上	・
	・C種	・	突板の厚さ0.25以上	12以上	75以上	900以上	・
・接着工法	・A種	・	ひき板の厚さ2以上	12以上	75以上	450以上	・
	・B種	・	突板の厚さ1.2以上	12以上	75以上	450以上	・
	・C種	・	突板の厚さ0.25以上	12以上	75以上	900以上	・

塗装　・行う（施工箇所　　）
　塗料　・
間伐材等　間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木を使用しているもの
種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床の記号　・　　）

14 畳敷き [6.12.2]

畳表　・C1　・C2

⑮ せっこうボード、その他ボード及び合板張り [6.13.3]

合板の強付け工法　・A種　・B種
せっこうボードの目地工法

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類
⊙継ぎ目処理工法	・テーパーエッジ　⊙ベベルエッジ
⊙突付け工法	⊙ベベルエッジ　・スクェアエッジ
・目透し工法	

⑯ 壁紙張り [6.14.2～3]

施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考
	紙	繊維	ﾌﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
⊙　図示	・	・	・	・	⊙	※不燃　・準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・		
	・	・	・	・	・		

⊙モルタル面の素地ごしらえ
　※B種　・　（施工箇所　図示　）
⊙プラスター面の素地ごしらえ
　※B種　・　（施工箇所　図示　）
・コンクリート面の素地ごしらえ
　※B種　・　（施工箇所　図示　）
⊙せっこうボード面の素地ごしらえ
　※B種　・　（施工箇所　図示　）

17 モルタル塗り [6.15.3] [6.15.6]

吸水調整材及び防水材の品質・性能等　追補による
既成目地材　・適用する　・適用しない
床目地　・設ける（工法　※押し目地　・　　）　・設けない

18 タイル張り [6.16.2～4]

タイルの形状、寸法、きじの質等

施工箇所	形状	寸法（mm）	再生材の適用	吸水率による区分	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑り性
・	・	・	・	・Ⅰ種・Ⅱ種・Ⅲ種	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・Ⅰ種・Ⅱ種・Ⅲ種	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・Ⅰ種・Ⅱ種・Ⅲ種	・	・	・	・	・	・	・	・	・

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内装	出隅、天端

見本焼き　・行う　※行わない
試験張り
壁タイル張りの工法　・密着張り　・改良圧着張り　・マスク張り　・モザイクタイル張り
コンクリート素地面の下地処理の方法　※目荒らし工法　・

7 塗装改修工事

① 材料 [7.1.3]

建物内部に使用する塗料の材質　⊙水性系　・
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
　・次の場所を除き防火材料とする（箇所　　）

② 下地調整及び素地ごしらえ [7.2.1～7] [7.3.1～7]

既存塗膜の除去範囲（塗替えでRB種の場合）
　※劣化部分は除去、活膜部分は残す　・図示
下地調整及び素地ごしらえの種別　表7．2．1～7、7．3．1～7

下地面の種類	種別 下地調整	種別 素地ごしらえ	ひび割れ部の補修
木部	※RB種　・	・A種　・B種	
鉄鋼面	※RB種　・	・A種　・B種　※C種	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種　・	・A種　※B種	
亜鉛めっき鋼面（その他）	※RB種　・	※A種　・B種	
モルタル面、せっこうプラスター面	※RB種　・	・A種　※B種	⊙行う
コンクリート面、ALCパネル面	※RB種　・	・A種　※B種	・行う
コンクリート面、押出成形セメント板面	・	・A種　・B種	・行う
せっこうボード面、その他ボード面	※RB種　・	・A種　・B種	

3 錆止め塗料塗り [7.4.2～3]

鉄鋼面の錆止め塗料塗りの種別　表7．4．1、表7．4．3～4

塗装の種類	塗装面	下地	塗料	種別
合成樹脂調合ペイント塗り	新規（見え掛り）		A種	※A種　・
	新規（見え隠れ）			※B種　・
	塗替え	RA種		・A種　・B種
		RB種		C種
耐候性塗料塗り	新規		1回目C種	※A種　・
	塗替え	RA種	2、3回目D種	A種
		RB種	E種	B種
		RC種		C種
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	新規（見え掛り）		・A種　※B種	※A種　・
	新規（見え隠れ）			※B種
	塗替え	RA種		・A種　・B種
		RB種		C種

亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗りの種別　表7．4．2、表7．4．5～6

塗装の種類	塗装面	下地	塗料	種別
合成樹脂調合ペイント塗り	新規（鋼製建具等）		※A種　・B種	※A種　・B種
	新規（その他）		・A種　※B種	・A種　※B種
	塗替え	RA種	※A種　・B種	・A種　・B種
		RB種		C種
耐候性塗料塗り			B種	全面に塗り付ける
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	新規（鋼製建具等）		C種	※A種　・B種
	新規（その他）			・A種　※B種
	塗替え	RA種		・A種　・B種
		RB種		C種

④ 塗装 [7.5.2]～[7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り	木部（屋内）	※B種　・	※A種　・
	木部（屋外）	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面（その他）	※B種　・	※B種　・
・クリヤラッカー塗り	木部（屋内）	※B種　・	・A種　※B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	コンクリート面（屋内）	※B種　・	・A種　※B種
	モルタル面（屋内）	※B種　・	・A種　※B種
・耐候性塗料塗り	鉄鋼面（屋外）	表7．8．1	
	亜鉛めっき鋼面（屋外）	表7．8．2	
	コンクリート面（屋外）	・	・
	押出成形セメント板面（屋外）	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	コンクリート面	※B種　・	・A種　※B種
	モルタル面	※B種　・	・A種　※B種
	せっこうプラスター面	※B種　・	・A種　※B種
	せっこうボード面	※B種　・	・A種　※B種
	木部（屋内）	※B種　・	※A種　・
	鉄鋼面（屋内）	※B種　・	※A種　・
	亜鉛めっき鋼面（屋内）	※A種　・B種	※A種　・B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り	コンクリート面	※B種　・	・A種　※B種
	モルタル面	※B種　・	・A種　※B種
	せっこうプラスター面	※B種　・	・A種　※B種
	せっこうボード面	※B種　・	・A種　※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り	木部（屋内）	・A種　※B種	・A種　※B種
⊙ステイン塗り	木部	表7．12．1	
・木材保護塗料塗り	木部	・A種　※B種	・A種　※B種

塗装については、施工技術、品質管理等に関して指導を行っている愛媛県仕上工事業協同組合の組合員、（一社）日本塗装工業会愛媛県支部の会員又は、施工技術に関し、当該団体の会員と同等以上の技術を有すると監督員が承諾する施工業者とする。
・マスチック塗材塗りは、全国マスチック事業協同組合連合会の所属員で、同組合が実施する検定試験に合格した者を有する業者とする。

⑤ 施工業者

8-1 耐震改修工事（共通事項）

1 適用範囲 [8.1.1]	工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨ブレースの設置工事 ・柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法） ・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法） ・連続繊維補強工事 ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事	
2 既存部分の撤去 [8.21.2]	既存仕上げ及び構造体の撤去範囲　※図示 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処理　※図示	
3 既存部分の処理 [8.21.3]	目荒らしの程度 ※平均深さ2～5mm、最大深さ7mm程度の凹面を全面にわたってつける ・ 目荒らしの範囲 ※柱及び梁　打継ぎ面の15%～30%程度 ※壁面　打継ぎ面の10%～15%程度 ・	

8-2 耐震改修工事（鉄筋）

1 鉄筋 [8.2.1]	鉄筋の種類 種類の記号 / 呼び名（mm） ※SD295 ※SD345 ・ ・	
2 溶接鉄筋 [8.2.2]	種類　※溶接金網　・鉄骨格子 形状等 網目の形状、寸法、鉄筋の形（mm） / 使用部位	
3 鉄筋の継手 [8.3.4] [8.4.2～3]	継手方法等 部位 / 継手方法（・ガス圧接　・機械式継手　・溶接継手　・重ね継手　・） / 呼び名（mm）	
4 シアコネクタ（現場打ちコンクリート壁の増設部に使用） [8.7.8]	種類　※金属拡張系アンカー　・接着系アンカー　・ 径　※D10　・図示 間隔　※500×500　・図示 試験　※適用する　・適用しない シアコネクタとセパレーターの兼用　※兼用してもよい　・兼用しない	
5 剥裂補強筋 [8.21.6] [8.22.7]	種類　※スパイラル筋6φ（SR235）　・はしご筋D10（SD295） 適用箇所　※図示	

8-3 耐震改修工事（コンクリート）

1 コンクリートの種類と強度 [8.1.3]	※普通コンクリート（調合管理強度：Fc＋S（構造体強度補正値）） 設計基準強度（Fc）（N/mm²） / 適用箇所 ※21 ・ ・ ・	
2 型枠のせき板 [8.2.7]	※合板（厚さ1.2mm）　・合板（厚さ15mm）	
3 コンクリートの打込み [8.21.8]	打込み工法の種類　・流込み工法　・圧入工法	

8-4 耐震改修工事（あと施工アンカー）

1 あと施工アンカー [8.2.4]	・金属系アンカー 呼び径（mm） / 埋込深さ（mm） / 引張耐力（kN） / せん断耐力（kN） / 備考 ※本体打込み方式 ・ 接合筋の種類、径、長さ　※図示 ・接着系アンカー 呼び径（mm） / 埋込深さ（mm） / 引張耐力（kN） / せん断耐力（kN） / 備考 ※カプセル方式 ・	
2 あと施工アンカーの試験 [8.12.7]	性能確認試験　・行う　・行わない 施工確認試験　・行う　・行わない アンカー径（mm） / 1ロット当たりの試験体の本数（本）	
3 施工管理技術者 [8.12.2]	※適用する （一社）日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有するもの	

8-5 耐震改修工事（鉄骨）

1 鉄骨製作工場 [8.1.5～6]	鉄骨製作工場の加工能力　※構造関係共通事項による 施工管理技術者　※適用する　・適用しない	
2 鋼材 [8.2.8]	材質等 種類の記号	
		※JIS規格による　・
		※JIS規格による　・
		※JIS規格による　・
3 高力ボルト [8.2.9]	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト　（一社）日本鋼構造協会規格JSS Ⅱ 09 ・JIS形高力ボルト　JIS B 1186　1種（F10T） ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示 すべり係数試験　・行う　試験方法等（　　） ※行わない	
4 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.2.9]	ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等　※図示　1種（F8T）相当 摩擦面の処理 ※ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上） ・りん酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験方法　※図示	
5 溶接部の試験 [8.15.12]	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※行う　・行わない 放射性透過試験　・行う　※行わない マクロ試験（エンドタブ使用）　・行う　※行わない	
6 鋼材の溶融亜鉛めっき [8.20.4]	種別　※改修標準仕様書表8．20．1のA種　・	

8-6 耐震改修工事（グラウト）

1 モルタル及びグラウト材 [8.2.6] [8.2.12]	構造体モルタル ※改修標準仕様書［8．2．6］及び［8．2．12］による　・ 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル（製造所　評価名簿による）　・ グラウト材 ※無収縮グラウト材（セメント、混和剤、砂は無収縮モルタルに準ずる） （品質・性能等一追補による、製造所　評価名簿による）	

8-7 耐震改修工事（柱補強）

1 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [8.23.5]	柱頭及び柱脚の隙間　※図示 溶接金網の継手　※重ね継手　・ 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ　※図示 コンクリート及び構造用モルタルの打込み　・流込み工法　・圧入工法	
2 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [8.23.6]	柱頭及び柱脚の隙間　※図示	
3 連続繊維補強工事 [8.2.13] [8.24.5～6]	連続繊維の材料 ・炭素繊維　・アラミド繊維　・ガラス繊維　・ 連続繊維の材質 引張強度（含浸硬化後）　・（　　）N/mm²　・ ヤング係数（含浸硬化後）　・（　　）N/mm²　・ 繊維目付量　・（　　）g/mm²　・ シート厚さ　・（　　）mm　・ シート貼り方向　※図示 定着方法　※図示 含浸接着樹脂　・低臭型　・ プライマー　・低臭型　・ 下地処理 仕上げモルタルの除去　※行う　・行わない 下地処理の範囲　※図示 下地処理の程度　※図示 柱の隅角部の面取り 箇所　※図示 大きさ　※図示 下地調整　※行う　・行わない ひび割れ部改修　・行う　・行わない 種類及び部位　※図示 引張強度試験　・行う　・行わない 補強工事後の仕上げ　※図示	

8-8 耐震改修工事（耐震スリット新設）

1 耐震スリットの施工 [8.25.2]	既存撤去部の配管等の探査 ※鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋及び配管類の位置に墨出しを行う。	
2 耐震スリットの種類 [8.25.2]	※完全スリット　・部分スリット スリットの幅及び深さ　※図示 製造所（　　）	
3 耐震スリットへの充填材 [8.25.2]	シーリング材 施工箇所　※図示 耐火材の使用　・使用する　・使用しない 施工箇所 / 防火性能 / 材料 遮音材の使用　・使用する　・使用しない 施工箇所 / 防火性能 / 材料	

7 耐火被覆 [8.18.2～8]

種別等

・耐火材吹き付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火塗料		

一級建築士　第344115号　高橋泰尚